

## 令和2年度 鹿児島県認知症ケア専門士会 第2回単位認定研修報告

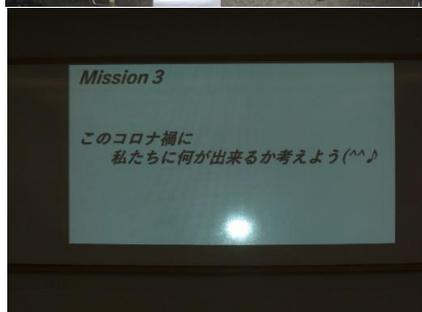
### 第一部

### 認知症ケア専門士の役割

～コロナ時代のケアと医療との連携を考える～

松本診療所のわすれクリニック理事長・院長  
一般社団法人日本認知症ケア学会 総務担当理事  
大阪市大学大学院(生活科学研究所)客員教授

坂本 一生 先生



### 第二部

### オンライン交流会・グループワーク

コロナ禍による非常事態宣言の発出、解除が繰り返され単位研修会開催の計画がままならない状況が続いていました。その中で会員の皆様に安全・安心に研修会が行えないか役員会でも話し合いやZoom操作の練習を重ね、今回集合研修とオンライン研修を同時に行うハイブリッド研修を開催することが出来ました。

第一部は坂本先生をお招きしての講演でした。コロナ禍において当事者、家族、職場、地域との寄り添い方、関わり方についてお話をして下さいました。先生は自身の診療所の患者様や地域住民の方々にアンケートを行い、新型コロナウイルスに対する認識の変化などデータを通じて解り易く説明して頂きました。

第二部は交流会・グループワークを企画しました。坂本先生のお話も踏まえ、専門士として関われることは何か、どんなことが出来るか。事例を通してグループに分かれ皆さんの意見を発表して頂きました。参加者の皆さん自分たちの職場や業務での関わりなど沢山お話しして下さい設定した時間が足りないほど白熱したグループワークとなりました。

「コロナ禍で市町村をまたいだ移動ができない状況下であったのでZoom研修は不都合なく交流を保てる場となり参加してとてもよかった」「パソコンでZoom設定が出来なかったが集合研修も開催してくれて参加することが出来た」「交流会では先生とも交流が出来ればさらに良かったと思います」今回の研修でも様々なご意見ご感想いただきました。次年度は更に充実した研修を企画していきたいと思っております。